

所属経験者も驚くキャスティングオファー数。

年間オファー数 500本以上

デビューを完全バックアップ。

WECでは、映画やドラマ、舞台の出演、雑誌モデルやレコード会社への直接プレゼンまで、
在校中からプロの環境を体験することで将来、芸能界で活躍するために
必要な現場力を養うためのチャンスを提供しています。

ほかにも、
CMやMVなど
多くの在校生が
出演中!!!

smart

雑誌smartの専属モデルとして活動中!本格的な撮影を通して、モデルとして現場で求められるものを養っていきます。

ar

雑誌arの撮影に参加!最新メイク術やトレンドファッションなど、現場でしか学べないことがたくさん!

JELLY

雑誌JELLYの誌面に登場!雑誌の雰囲気に合わせて表情やポーズを何度も撮影。被写体として求められる技術を感じながら撮影を終えました!

豊富なキャスティング実績!!

- ドラマ** ●今際の国のアリス ●仮面ライダージオーウ ●ガンダムビルドリアル ●今日から俺は!! ●silent ●TWO WEEKS ●トップナイフー天才脳外科医の条件ー ●姉ちゃんの恋人 ●初めて恋をした日に読む話 ●ハル〜総合社長の女〜 ●左手一本のシュート ●ブラック校則 ●べしや暮らし ●僕だけが17歳の世界で ●マイルノビッチ ●ルパンの娘2 ●私がモテてどうすんだ など
- 映画** ●藍に響け ●青くて痛くて脆い ●アンダードッグ ●映像研には手を出すな! ●かくや様は告らせたい〜天才たちの恋愛頭脳戦〜 ●貴族降臨 -PRINCE OF LEGEND- ●サイレント・トーキョー ●すばらしき世界 ●そして、パトンは渡された ●ドクター・デスの遺産 -BLACKFILE- ●Netflix 映画「シティーハンター」 ●ヒノマルソウル〜舞台裏の英族たち〜 ●ブレイブー群青戦記ー ●蜜蜂と遠雷 ●ゆとりですがなにか インターナショナル ●ラーゲリより愛を込めて など

SNSプログラム

～インフルエンサー・クリエイター創出プログラム～

芸能界の既存のジャンルに捉われないSNS等を使った表現を経て、新しい自分を発見していくプロジェクト。

今のエンターテインメント業界では、SNSからの流行、そしてデビューという従来とは異なる大きな変化が起きています。
それを受け、在学中からワタナベエンターテインメントカレッジのバックアップのもとで、
SNSでの活動を行い、活躍の幅を広げることが可能な『SNSプログラム』を新たにスタートしました。

SNS育成プログラム

プロからSNSスキル・ノウハウを学び、
SNSを1つの武器として活躍の幅を広げる為のヒントを学びます。

SNSで活躍している現役人気インフルエンサーの方々から、SNSの基礎知識からフォローアップのコツやマネタイズなどを学ぶSNS特別講座です。SNSプログラム登録者は無料で講座を受講できます。パズらせる方法だけでなく、SNSで関わってくる著作権レクチャーや事務所から求められる事なども知る事ができ、デビューに向けてSNSを戦略的に動かしていくことができます。



【TikTok講座 講師:林拓磨】

独自の世界観で作られられる人形劇ドラマが海外を中心に人気大爆発中のインフルエンサー林拓磨。"はやたく"の愛称でTikTokフォロワー数820万人以上、公式YouTubeチャンネル登録者数164万人!YouTube分析ツール『Digital Creators(デジタルクリエイターズ)』が発表した「YouTube週間動画再生数ランキングTop10【ショート】」で上位を独占。



【Instagram講座 講師:石井里奈】

会社員をしながらSNSインフルエンサー、洋服のプロデュースやファッション誌・女性メディアのモデル、TV・CM出演など、Instagramの活動から活躍の幅を広げ続けている、フォロワー21万超えの人気インスタグラマー。



WATAKOライブ

SNSプログラムに登録し、在校中にSNS活動を活発に行っている学生の中で、主に歌・ダンスをメインに発信し、そこから選ばれた学生が出演する一般集客の音楽ライブが定期開催されています。SNS活動からリアルな経験に繋げ、学生の皆さんが経験を積み重ねる機会・フォロワーとの交流を深める機会・人材発掘の機会として、ワタナベエデュケーショングループとワタナベデジタルエージェンシーでの共同イベントという形で定期開催しています。



ワタナベデジタルエージェンシーとのインフルエンサー契約

2021年4月1日にワタナベエンターテインメントのデジタル部門として、在校中からインフルエンサー契約をすることができる、「ワタナベデジタルエージェンシー」という新会社が設立されました。これにより、SNS活動の中である一定のフォロワー数を獲得すると、専門的なバックアップを受けながらインフルエンサーとしての仕事にチャレンジすることが可能となりました。



みさき



びよん